Panc02-Luc

305706

□要

□明

Panc02-Luc□ʻPanc02マウス膵臓腺癌細胞株のルシフェラーゼ発現誘導株である。 Panc02細胞□、マウスにおける化学的誘発膵管腺癌に由来し、免疫能を有するマウス宿主における膵臓癌の同系モデルとして広く利用されている。 ルシフェラーゼレポーターの導入により、in vitroおよびin vivoにおける腫瘍細胞の高感度な生物発光イメージングが可能となり、腫瘍の増殖、転移の拡散、および治療反応の非侵襲的な経時的モニタリングが容易になります。これらの特性により、Panc02-Luc□膵臓がん生物学、免疫腫瘍学、および前臨床薬物開発研究において貴重なプラットフォームとなっています。

Panc02-Luc細胞□、腫瘍の進行、間質との相互作用、免疫細胞の浸潤、および化学療法や免疫療法に対する耐性のメカニズムを調査するために、同系マウスにおける正位および皮下腫瘍モデルで一般的に利用されています。Panc02腫瘍□、免疫系が正常に機能する同系マウス系統に確立できるため、このモデル □チェックポイント阻害剤、細胞療法、がんワクチン、および併用療法戦略の評価に特に有用です。 ルシフェラーゼを用いたイメージングにより、生体内の腫瘍負荷を繰り返し定量的に評価することが可能となり、実験のばらつきを低減し、治療効果のリアルタイム評価を支援します。

Panc02-Luc細胞□、膵腫瘍細胞の増殖、遊走、浸潤、サイトカインシグナル伝達、代謝適応、アポトーシスの研究に使用される。このモデルの生物学的挙動 □、作製時に使用されたルシフェラーゼ構築体、プロモーター系、およびクローン選別戦略によって異なる場合がある。レポーターの安定性、発光強度、転移能を含むさらなる特性評価データ□、特殊な実験用途において重要となる可能性がある。

ティッシュ	膵臓
病気	マウス膵管腺癌

同義語

- Luciferase Reporter Panc02 Cell Line

分類

生物	マウス
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
GMOの有無	GMO-S1

GMOのステータスに関する詳細

GMO-S1: This cell line contains a stably integrated firefly luciferase reporter cassette (Luc2, codon-optimized) introduced via replication-incompetent lentiviral transduction. The resulting polyclonal cell population was maintained under puromycin selection (1–5 µg/mL). S1 containment is required. This classification applies only within Germany and may differ elsewhere.

バイオセーフティレベル	1

特徴

倍増時間	24~48時間

識別子

引用

Panc02-Luc（Cytion カタログ番号 305706）

NCBI 納税者番号	10090
セロサウルス	CVCL_E3IB

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

抗原発現

Luc2（ホタル、コドン最適化）

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコで□3-5ml、T75フラスコで□5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコで□1-2ml、T75フラスコで□2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	1～3×10⁴細胞/cm²
流体の更新	週2～3回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 200 x g for 5 minutes, carefully discard the supernatant containing freezing medium.
Follow the procedure described under Post-Thaw Recovery

品質管理と凍結保存

凍結培地	凍結保存培地として□、解凍後の生存率を十分に高めるため、完全増殖培地＋ 10%DMSOを使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

品種／亜種	C57BL/6
ドナーの年齢	特定せず

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた □安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB